

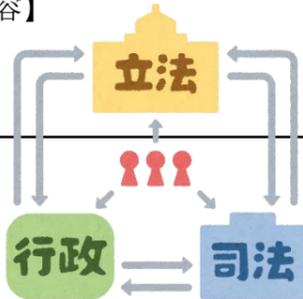
# ❀ 卒業プロジェクト ❀

## 内容ベースのつながり

国語  
 ○私と本「森へ」  
 ○日本文化を発信しよう  
**【つなげたい内容】**  
 発表資料作成  
 プレゼンテーション



社会  
 ○国の政治のしくみと選挙  
**【つなげたい内容】**  
 三権分立



算数  
 ○データの特ちょうを調べて整理しよう  
**【つなげたい内容】**  
 データの活用



道徳  
 ○マナーからルールへ、そしてマナーへ  
 ○いらなくなったきまり  
**【つなげたい内容】**  
 きまりの意味



### ガイダンス

・「卒業していく自分たちが、これからこの学校（在校生）がさらによくなるために、どんな改革ができるか」という視点から、学校の課題を発見し、それを解決していこうとする姿勢をもつ。

### プロジェクトの内容検討

・実際に学校の課題を発見し解決する。

### フェーズ①

#### ○プロジェクトに取り組む

・外部人材との活動を行い、考えを深める。  
 ・自分達が目指したい6年生像を決定する。  
 ・目指したい6年生像と学校教育目標からブレイクダウンしたルーブリックを自分達でつくる。  
 ・Chromebook の各技能からレベルアップ型の目標をつくる。  
 ・Chromebook の技能とルーブリックを組み合わせる。

#### ○運用・振り返り

・日々の行動を振り返り、自分達のレベル・目標を1ヶ月ごとに決定する。  
 ・ルールメイキングの流れから、Chromebook だけでなく学校のルールについても考える。

### フェーズ②

○学校のルールで疑問に思ったこと、変えたいと思うことをたくさん出す。

○学級全体で協働するための組織をつくる。

○プロジェクト毎に活動を進める。

・HPをつくる、プログラミング、提案書、プロジェクトシートなどをつくる。

○職員会議にかける

・委員会の裏でやっている校務運営委員会にかける。

### フェーズ③

○まとめと振り返り

・提案の成果を分析する。

・卒業プロジェクトのまとめと振り返りをする。

○戸田市プレゼンテーション大会の準備をする。

・戸田市の児童に紹介したい自主的な学びのプレゼンテーションを作成する。

・クラス内で発表を行い、戸田市プレゼンテーション大会に参加するものを決定する。

○他の学年に学校のルールを伝える。

・朝会やローレルタイムを活用する。

## 資質・能力ベースのつながり

### 国語

○聞いて考えを深めよう

### 体育

○表現

○フラッグフットボール

### 総合

○プログラミング

○セサミストリートカリキュラム

(戦略と役割分担)

## 協働力

・課題解決のためには、互いのよさや力を活かしていくことが重要であると気付いている。

### 国語

○思い出を言葉に

○大切にしたい言葉

### 音楽

○曲想の変化を感じ取ろう

### 家庭科

○共に生きる生活

## 自ら進んで学びに向かう力

・目的意識を持って、最後まで見通しをもって粘り強くやりぬこうとしている。

### 体育

○マット運動

○フラッグフットボール

○跳び箱運動

### 家庭科

○共に生きる生活

### 社会

○世界の未来と日本の役割

## 問題解決力

・自分のやりたいことや気になることを見つけることができる。

・リサーチやフィードバックから得た情報から、「自分ができること」を考え、解決のための計画を立てることができる。

・多様な見方から情報の真偽を判断し、目的に即した情報を収集することができる。

・見出した問題の原因や解決策を、ICT や思考ツールを使って、相手の立場に立った分かりやすい伝え方でまとめることができる。

・他者と比較しながら、活動のよかったところや改善点を正しく評価し、次の活動の見通しをもつことができる。